

# カントリーとモダンの調和。奥様のイメージを形にした ハイセンスでいて温もりの感じられるマイホームが完成

打ち合わせの中から  
イメージをキャッチ

Beハウス守谷事務所の所長、菅野公子さんは、インテリアコーディネーターとしても長いキャリアの持ち主。住宅やマンションの大手メーカーなどを経ながらそれを培うほか、今も専門学校でインテリアデザインの講師を務めています。

「私もBeハウスのポリシーは、とにかく打ち合わせを密にすること。そしてお客様がどういう家になさりたいのかを感じとり、そのイメージに添ったご提案ができるよう、普段から情報のアンテナを鋭くしておくことを心掛けています」

◆ 新庄邸の場合は、カントリー・モダンがコンセプト。バイン無垢材の床や天井、珪藻土の塗り壁などが緊張感をやわらげて、ホッとひと息つけるあたたかい雰囲気、ドアを開けたとたんに伝わってきました。

◆ 由美子さん●私はすぐに気が変わるほうなんです。完成までの10カ月間、本当に話を聞いていただいて、やりたいことを全部やって、後悔や不満は何ひとつありませんでした。

菅野●奥様がしっかりしたコンセプトをお持ちでしたので、それをどうアレンジしながら全体のイメージをまとめるかを第一に考えました。

将之さん●さまざまやりとりの中から、私たちの好みをくみ取って、ひとつひとつ具体的なものに落とし込み、細かいところまで気を配ってくれました。妻はもう、菅野さんに絶大な信頼を置いています。

由美子さん●Beハウスは素材の持ち込みが全部OK。だから自分でもシヨップなどを回つて、気に入ったものをいろいろ選んでおきました。でも、この家に合うかどうかとなると、私は素人なので判断が付きません。心配だったので、それも菅野さんに相談して見してもらいました。

菅野●奥様はインターネットなどでよく調べていらっしゃって、センスも高く、逆に教えていた、たくさんありがとうございました。

由美子さん●世界中のいいものが何でも原価で手に入り、同じ部材を使っても、かなりコストを抑えることができる。そこも大きな魅力でした。

将之さん●2,700万円の予算だったのが、最終的には2,500万円で収まりました。ほかで出してもらった見積もりは3,000万円、それでもできることに限りがあり、要望をすんなりと受け入れてもらえない。その違いも大きかった。

由美子さん●Beハウスは口コミが多いですね。私の周りでも建てた方が何人もいて、みんな「Beハウスはいいわよ」と勧めてくれたんです。

取材/池田充雄



広いオープンスタイルのカフェキッチン。かわいらしい照明も奥様が選びました



(左)船底型の勾配天井が大空間を実現。C値(気密値)1.1なので冷暖房の効きも抜群です  
(右上)ダイニング、腰壁と天井にもバイン無垢材を張りました  
(右下)リビングは2階にあり採光と眺めがよく、輸入木製サッシも雰囲気を高めています



新庄(しんしょう)邸外観。ベルギー製レンガと木調サイディングの外壁が格調高く、同時に温もりも感じられます



(左上)新庄さんご夫妻と長男の亮文(あきふみ)くん  
(左下)玄関アプローチも愛らしいデザイン  
(中)2階の洗面所。ミラーは奥様のチョイス、タイルと花柄のポウルが華やかさを出しました  
(右)リビングの一角にあるカウンター。お子さんが勉強する姿をキッチンから見守れます

**Be**ハウス

—デザイナーとつくる家—

<http://www.behouse.jp/>